

菅政権誕生

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

安倍首相の突然の辞任をうけ、菅政権が誕生しました。

やり手と言われる菅首相、是非この国難を乗り越え、遅れている改革(デジタル化、少子化対策…等)を迅速に進めてもらいたいものです。さて、長期政権だった安倍政権、たくさんの功績は認めますが、末期に噴出した森友、加計問題、河



代表取締役社長 吉田治伸

井議員に対する過剰な援助、挙句の果てには検事総長まで自分の言う通りになる人間にさせようとするなど権力者にありまじき行動は目にあまりました。やはり権力者こそ平等、権力者こそ反対意見に耳を傾ける、は重要でないでしょうか？

私も社長在任10年を超え、反対意見を言われる機会が減り、逆に心配しておりますが、入社当時は、私と意見の違う役員がごっそりいました。当時の主力の考え方は、「仕事はこなせ。」「言われた事だけやれば良い。」「こんな仕事好きでやっている人間はいない。」「とにかく利益第一。」…今とは真逆です。(だと思っておりますが…)

しかし、一人の役員も首にできませんでした(当たり前ですが)。今になって考えると「だから頑張れた。」です。反対の考え方の人にも少しは道理があります。反対の考えの方がいたから、自分の正当性を示すためにもっと頑張ったのであります。当時もし、銚三社長が私のいう事を100%聞いてくれたら大失敗していたと思います。

やはり物事はうまくいかないから成長するのであります。コロナ禍、いろいろありますが、少したったら、コロナのおかげで成長できた、コロナのおかげで変化できたとなれば良いですね。

秋らしくなってきました、良い時期をお過ごしください。